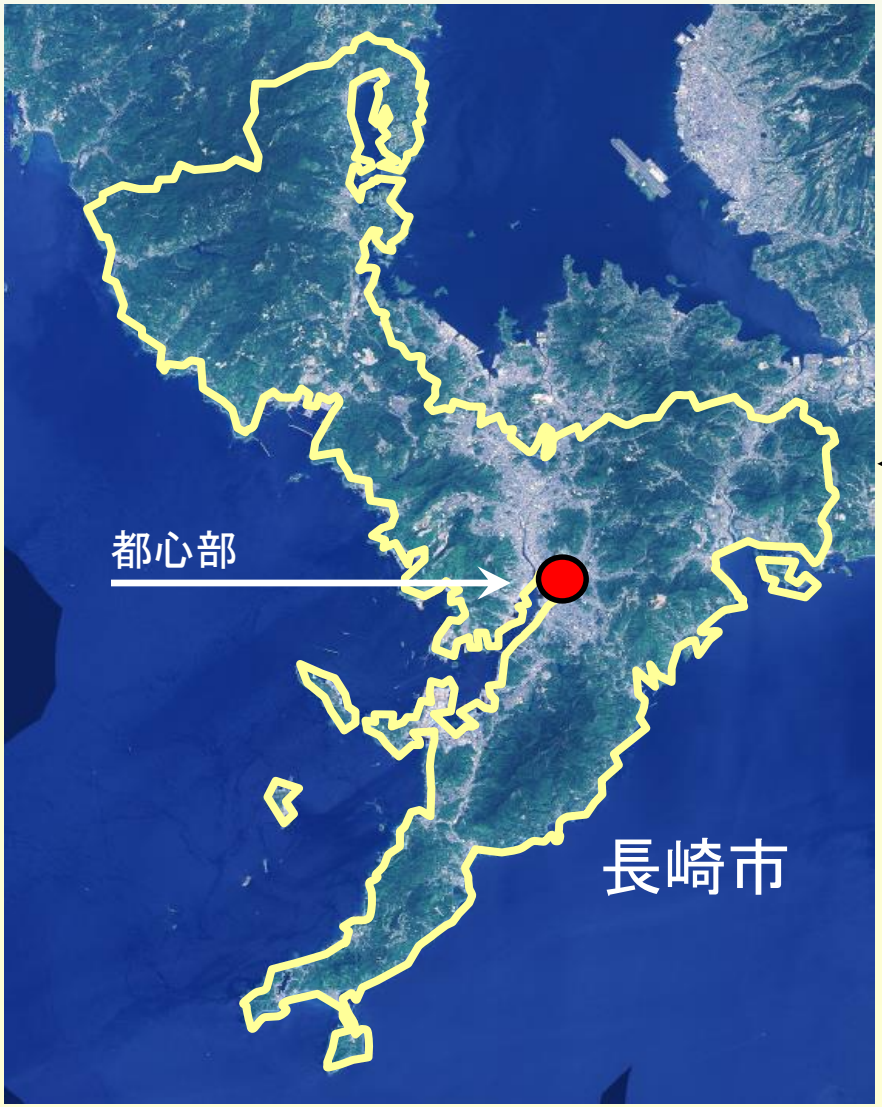
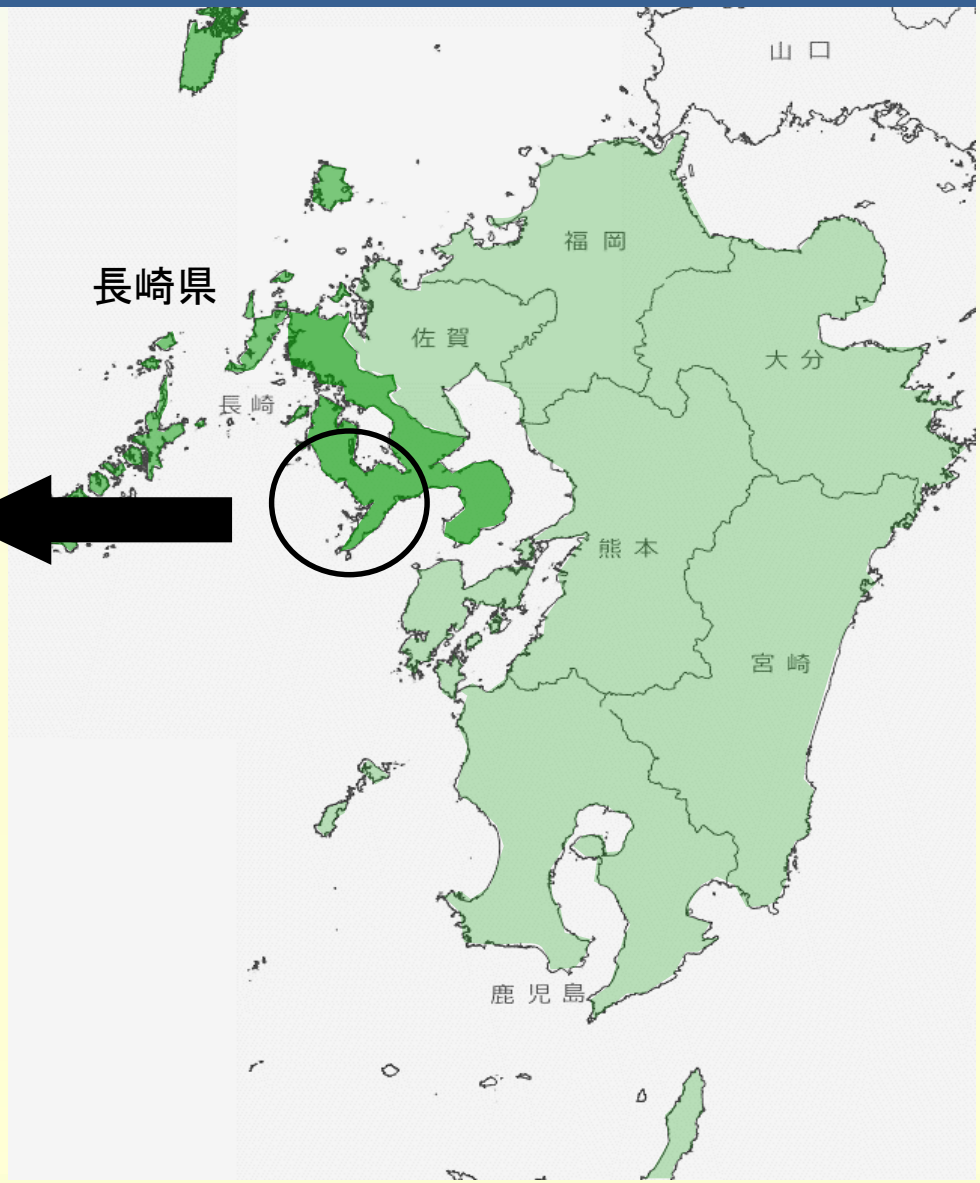
長崎市の路面電車について

長 崎 市

１　長崎市の概要

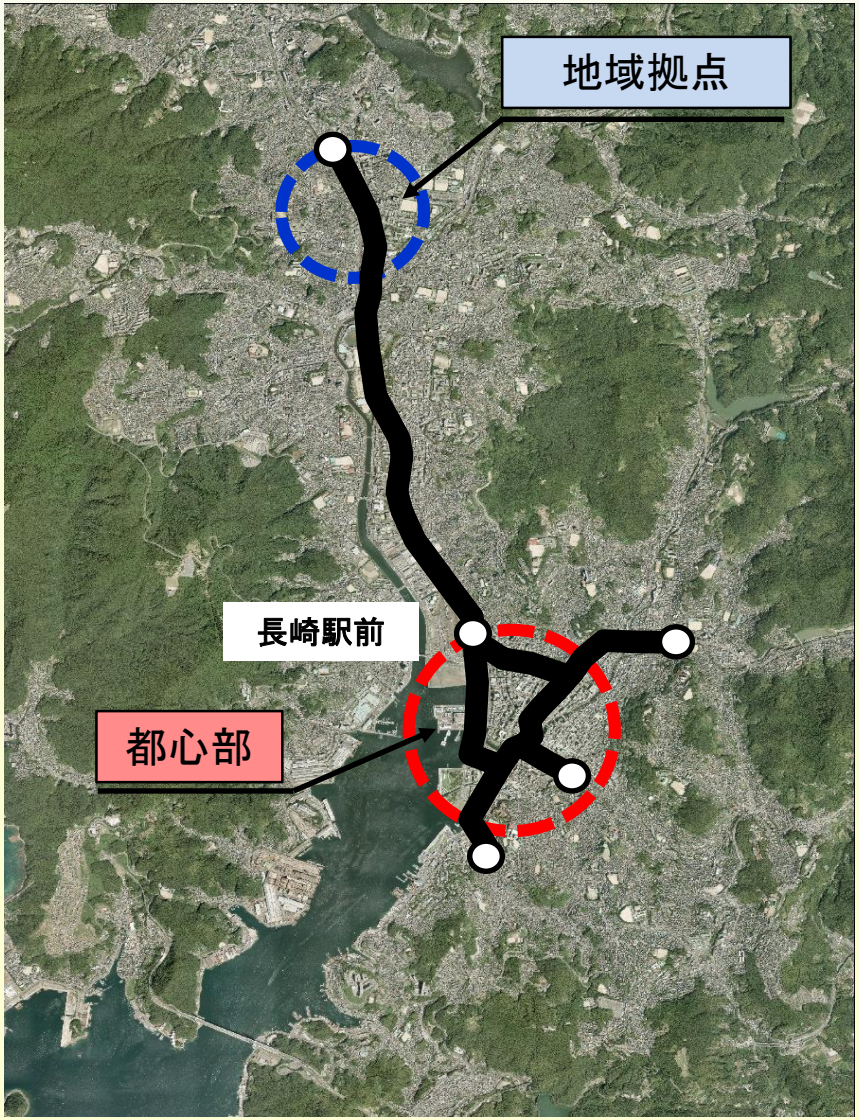
長崎市の位置





２　路面電車の位置付け

路面電車の位置付け



運行区間の状況

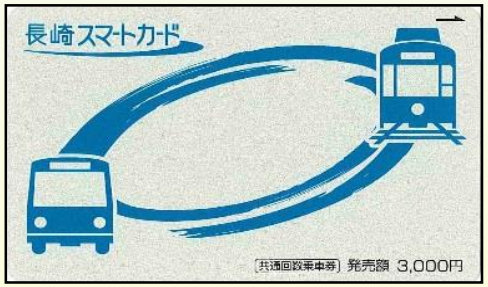
- 人口が集中する市街地
- 医療施設や商業施設、主要な観光施設などが立地
- 「コンパクト＋ネットワーク」の都市づくりの拠点部を運行

- 市民や観光客の移動手段として必要不可欠な公共交通手段
- 将来的にも拠点間のネットワークを担う公共交通機関として、重要性が高い

３　これまでの主な取り組み

行政と事業者が連携した取組み

①非接触ＩＣ共通カード導入



②軌道のセンターポール化

③電停への平面アクセス化

④停留場改善

⑤外国語表示板の設置

⑥路面電車低床車運行情報等
　提供サービス「ドコネ」の導入

行政と事業者が連携した取組み

⑦超低床式路面電車の導入

3000形（3編成導入）

5000形（2編成導入）

行政と事業者が連携した近年の取組み

⑧行先表示案内車内ディスプレイ設置

- 事業実施：H28
- 全営業車両の前後1台ずつ設置

日本語

英　語

行政と事業者が連携した近年の取組み

⑨路面電車魅力向上

- 事業実施：H28
- 「310号車(S29.1製造)」のデザイン改修

外装（改修前）

外装（改修後）

行政と事業者が連携した近年の取組み

⑨路面電車魅力向上

内装（改修前）※同型車参考

内装（改修後）

４　　今後の取り組み

今後の取組み

①超低床式路面電車導入の促進

・導入率の向上

②軌道施設バリアフリー化の促進（歩道橋撤去等）

・未改良電停の実施検討

③全国相互利用ＩＣカードへの転換

・既存システムの老朽化に伴う転換

ご清聴いただき、
有難うございました。